

特集！！ハルちゃんが行く！！

～CLT建築の紹介～

新たな木材需要を生み出すと期待され、近年注目を集めているCLT建築ですが、高知県では次々と建設が進んでいます。今回は平成28年4月に四万十町に完成した、「高知県立農業担い手育成センター長期研修用宿泊施設」をご紹介します。



ハルちゃん



CLTとは

Cross Laminated Timber (クロス・ラミネイティド・ティンバー) の略で、繊維方向が並行になるように並べた層を、各層で繊維方向が互いに直交するように積層接着した厚型パネルのことです。積み重ねる層の数によってパネルの厚みが変わります。

CLT工法を用いた建築のメリット

- ◇ 木を多く利用した工法である。
- ◇ 木材は多孔質材料のため断熱性が優れている。
- ◇ 組み立てが容易で工期が短い。
- ◇ 直交積層のため寸法安定性が高い。など

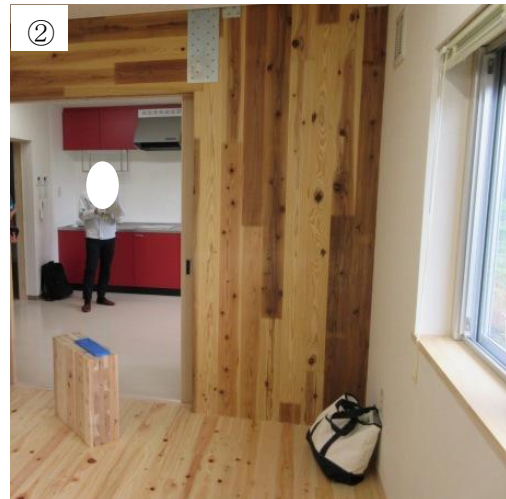


高知県立農業担い手育成センター長期研修用宿泊施設の紹介

- ◇ 場所：四万十町黒石（平成28年5月に完成した次世代施設園芸団地近く）
- ◇ 工事期間：平成27年9月3日～平成28年4月30日
- ◇ 地上2階建て（一部平屋）
- ◇ 宿泊部屋数：20室（全て1人部屋）

高知県立農業担い手育成センター長期研修用宿泊施設の内装の紹介

C L Tは構造材として使われており、内装は壁紙を貼ったり、腰壁を施しているため、C L Tを直接見ることはできませんが（写真①）、談話室の一部だけ敢えて壁紙を貼らず、C L Tパネルが見えるようにしています（写真②）。明るい廊下の両側に一人部屋や共同利用できる設備があり、木目がよく見える内装になっています（写真③、④）。



<参考>

C L T建築推進協議会 ホームページ <http://www.clt-kenchiku.org/wdoc/?q=grp01>